

第2章

シンポジウム

AP シンポジウム「直接評価の実践～基盤力テストの到達点と今後の展望」

1. 開催概要

主催：山形大学

日時：令和元年12月9日（月）10：00～15：30 ※受付開始は9：30～

※終了後（15：30～16：30）IR 履修証明プログラム説明会を実施

場所：学術総合センター 2F 講堂（〒101-8439 東京都千代田区一ツ橋 2-1-2）

2. タイムテーブル

10：00～10：05	主催者挨拶 山形大学・理事 安田 弘法
10：05～10：10	配布資料確認+趣旨説明 山形大学 学術研究院 浅野 茂
10：10～10：30	【基調講演】 教学マネジメント指針の審議状況について 文部科学省 高等教育局 平野 博紀氏
10：30～11：30	学問基盤力テストの分析結果 山形大学 学術研究院 安田 淳一郎（語彙力テストは浅野が説明）
11：30～12：00	実践地域基盤力テストの分析結果 山形大学 学術研究院 白石 哲也
12：00～13：00	昼食休憩
13：00～13：15	国際基盤力テストの分析結果 山形大学 学術研究院 浅野 茂
13：15～13：35	基盤力テストのBI による可視化 山形大学 学術研究院 藤原 宏司
13：35～13：55	基盤力テストの今後の展望 山形大学 学術研究院 千代 勝実
13：55～14：10	休憩
14：10～15：10	総合討論・質疑応答 報告者全員+安田理事+小山学長+平野室長
15：10～15：20	クロージング 山形大学・学長 小山 清人

AP シンポジウム

「直接評価の実践～基盤力テストの到達点と今後の展望」

<主催者挨拶>

○司会

皆様、おはようございます。少し開始時間を超過してしまい、申し訳ございませんが、ただいまから AP シンポジウム「直接評価の実践～基盤力テストの到達点と今後の展望」ということで、開始させていただきます。本日の司会進行を務めさせていただきます、山形大学の浅野でございます。どうか皆様よろしく願いいたします。

では、まず主催校を代表いたしまして、安田弘法理事よりひとこと御挨拶申し上げます。安田理事、よろしくお願いいたします。

○安田理事

皆さん、おはようございます。先ほど御紹介いただきました、山形大学の安田でございます。主催させていただきますので、ひとこと御挨拶と御礼を申し上げたいと思います。本日、大学教育再生加速プログラムのシンポジウム、最後、4回目の最後でございます。師走の忙しいところ、朝早くから多くの皆さんお集まりいただき、誠にありがとうございます。心から御礼申し上げるところでございます。またお忙しいところ、今日基調講演していただきます、文科省高等局の平野室長様におかれまして、この基調講演を快諾していただきまして、本当にありがとうございます。よろしくお願いいたします。

このシンポジウム、すでにお手元に資料でございます。今日三部作でございます。最初に先ほど御紹介しました平野様より基調講演。それから基盤力、基盤教育に関して概要。さらには結果・分析。そういったことを踏まえて、最後の三本目が総論討論。そういうふうなことでございます。釈迦に説法ですが、教育は国の礎でございます。その国にどういった10代、20代の若い人がいるかによって、その国の将来は決まると言われておるところでございます。ぜひ本日皆さんと意見交換・情報交換しながら、この基盤力さらに進化させていきたいと思うところでございます。

山形大学、教育特に人間力と専門力を身につけた学生を輩出しようと、そういったところで尽力しているところでございます。人間力の中の一つが生きる基盤となる基盤力を育成する、そういったところでございます。御存知かと思いますが、幕末の知者・昌平齋（しょうへいこう）、東大の前身の総長。佐藤一斎先生が『言志四録』という本を書かれております。その中の三つの学びの「三学戒」というふうな箴言がございます。「若くにして学べば壮にして為せる 壮にして学べば老いて衰えず 老いて学べば即ち死して朽ちず」というものでございます。この基盤力テストは、佐藤一斎さんの言葉のように、学

びの習慣を身につけてもらう。そういったベクトルもございます。学生諸君、卒業しても死ぬまで学んでいってほしい、そういった心がございます。

ちょっと話は変わりますが、1500年前、日本の中央集権国家を作られました聖徳太子。聖徳太子「和を以て貴しとなす」の教えでございますけれども、縁の重要性を結ぶ縁と書いて結縁（けちえん）と言います。縁がとても重要だということをおっしゃっているところでございます。さらに、仏教用語で縁尋機妙（えんじんきみょう）という言葉もございます。これは、良い縁がさらに良い縁を結ぶその様は、誠に妙なるものであるということでございます。本日お集まりの皆さん、この縁によって来られたと私は思うところでございます。ぜひさらに良い縁を結んでいただければありがたいと思うところでございます。

最後になりましたが、本日、重複しますが、お忙しい中、基調講演していただきます平野様、それから今日来ていただきましたすべての皆さん、そしてこのシンポジウムを企画してくれました教職員の皆さんに心から御礼申し上げまして、簡単でございますが、挨拶に代えさせていただきます。本日一日よろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。